

# J S S A E

## =日本動物実験代替法学会第25回大会=

会期：2012年12月7日（金）～9日（日）

会場：慶應義塾大学薬学部 芝共立キャンパス（東京都港区）

テーマ：動物実験代替法のサイエンス ～機構に基づいた予測～

大会長：杉山 雄一（理化学研究所）

大会事務局：独立行政法人理化学研究所 イノベーション推進センター 杉山特別研究室

〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1-6 横浜バイオ産業センター2F

OTel: 045-506-1816 Fax: 045-506-1800（吉門・佐藤）

○お問い合わせ：info@25th-jsaae.m

<http://www.asas.or.jp/jsaae/taikaiannai.html>（ポスター・タイムテーブル等掲載致しております）

### プログラム：

#### 【大会長講演】

12月8日（土） 9：00～9：30

「動物実験代替法分野におけるモデリング&シミュレーションの重要性」

杉山 雄一（理化学研究所 イノベーション推進センター 杉山特別研究室）

#### 【特別講演1】

12月8日（土）10：45～11：45

\*座長：楠原 洋之（東京大学大学院薬学系研究科）

「マイクロRNAによるステム細胞からの肝細胞分化誘導と化学物質の安全性・毒性の予測への応用」

落谷 孝広（国立がん研究センター研究所）

#### 【特別講演2】

12月9日（日）13：00～14：00

\*座長：久原 孝俊（順天堂大学大学院医学研究科）

「定性的構造毒性相関モデルに基づいた感作性化学物質の予測」

佐藤 一博（福井大学医学部）

#### 【教育講演】

12月8日（土）14：00～14：45

\*座長：大野 泰雄（国立医薬品食品衛生研究所）

「大学における検証制度への提言～検証を受けた立場から」

安居院 高志（北海道大学大学院獣医学研究科）

## 【シンポジウム】

### S1 「化粧品原料の安全性評価法の動向」

12月8日(土) 14:45~17:30

\*オーガナイザー：萩野 滋延(資生堂) 岡本 裕子(コーセー)

1. 化粧品原料の安全性評価法の動向 ~全体概要~ 萩野 滋延(資生堂)
2. 化粧品原料評価のための皮膚一次刺激性試験代替法の動向 奥村 秀信(常磐薬品工業)
3. 化粧品原料評価のための眼刺激性試験代替法の動向 簾内 桃子(国立医薬品食品衛生研究所)
4. 化粧品原料評価のための光毒性試験代替法の動向 今井 教安(コーセー)
5. 化粧品原料評価のための単回投与毒性試験代替法の動向 跡部 朋美(資生堂)
6. 粧工連における代替法を用いた皮膚感作性評価への取り組み 宮澤 正明(花王)
7. 化粧品原料の *in silico* 安全性評価に向けた粧工連の取り組み 井上 周(ロート製薬)

### S2 「代替法を指向した創薬を加速化する医薬品 *in vitro* 評価法の最前線」

12月8日(土) 15:30~17:30

\*オーガナイザー：中島 恵美(慶應義塾大学薬学部) 前田 和哉(東京大学大学院薬学系研究科)

1. ヒト組織サンプルと遺伝子発現系の併用によるヒト薬物動態の定量的予測 ~全体概要~  
前田 和哉(東京大学大学院薬学系研究科)
2. 医薬品の胎盤透過制御機構とその *in vitro* 評価 登美 斉俊(慶應義塾大学薬学部)
3. *In vitro* P-gp 阻害評価系構築とその応用 杉本 宏史(武田薬品工業)
4. 創薬・生命科学研究におけるヒト不死化細胞の有用性：*in vitro* ヒト血液脳関門モデルを例として  
降幡 知巳(千葉大学大学院薬学研究院)
5. *In vitro* データに基づく抗菌薬のPK/PD モデル解析~薬効を適切に評価できる指標の論理的探索~  
北村 嘉章(杏林製薬)

### S3 「培養工学の進歩を如何に細胞アッセイに活かすか？」

12月9日(日) 9:00~11:40

\*オーガナイザー：酒井 康行(東京大学生産技術研究所) 柿木 基治(エーザイ)

1. 培養工学の進歩を如何に細胞アッセイに活かすか？  
~究極ゴールを目指しながらも要請に応えるものを~ 酒井 康行(東京大学生産技術研究所)
2. 創薬・安全性評価における細胞アッセイの現状と課題 ~次世代の細胞アッセイへ求めること~  
柿木 基治(エーザイ)
3. スフェロイドアレイ技術と細胞アッセイ 中澤 浩二(北九州市立大学国際環境工学部)
4. マイクロ流体デバイスを利用した細胞アッセイ 杉浦 慎治(産業技術総合研究所)
5. Body on-a-chip: Improving *In Vitro* Predictions of Human Response to Drugs  
M. L. Shuler (Cornell University)

### S4 「医薬品・香粧品の経粘膜・経皮透過性の *in silico* 予測」

12月9日(日) 10:15~11:45

\*オーガナイザー：藤堂 浩明(城西大学薬学部) 湯田 浩太郎(インシリコデータ)

1. In silico 予測の可能性と最近の動向 ～全体概要～ 藤堂 浩明（城西大学薬学部）
2. In silico 経皮吸収予測手法を用いた化粧品の安全性リスク評価 上月 裕一（資生堂）
3. 薬物皮膚吸収の in silico 予測 東條 角治（九州工業大学情報工学部）

#### **S5 「first-in-human 試験の活用による医薬品の動態・薬効特性の早期把握」**

12月9日（日）16：00～17：45

\*オーガナイザー：山下 伸二（摂南大学薬学部） 中井康博（大正製薬）

1. 我が国における早期探索的臨床試験の現状と課題 ～全体概要～ 山下 伸二（摂南大学薬学部）
2. マイクロドーズ試験に基づいた体内動態特性評価と薬剤応答性の予測  
楠原 洋之（東京大学大学院薬学系研究科）
3. レギュレーション変化に対応した first-in-human 試験のための効率的な非臨床試験の推進  
布施 英一（協和発酵キリン株式会社）
4. PKPD モデル評価を活用した探索臨床試験の推進 川合 良成（第一三共株式会社）

#### **S6 「コラーゲンビトリゲル膜チャンバーを用いた ADMET 解析に有用な培養システム」**

12月9日（日）16：00～17：45 共催：農業生物資源研究所

\*オーガナイザー：竹澤 俊明（農業生物資源研究所） 石田 誠一（国立医薬品食品衛生研究所）

1. コラーゲンビトリゲルの特徴とその開發現状 ～全体概要～ 竹澤 俊明（農業生物資源研究所）
2. コラーゲンビトリゲル膜チャンバーを利用した眼刺激性試験法の開發現状  
山口 宏之（農業生物資源研究所、関東化学株式会社）
3. コラーゲンビトリゲル膜チャンバーを利用した皮膚感作性試験法の開發現状  
内野 正（国立医薬品食品衛生研究所）
4. コラーゲンビトリゲル膜チャンバーを利用した肝代謝モデルの開發現状  
押方 歩（農業生物資源研究所）

#### **【25周年記念講演】**

12月7日（金）13：00～16：00

\*オーガナイザー：黒澤 努（大阪大学医学部、日本動物実験代替法学会 会長）

1. 日本動物実験代替法学会の基盤形成と現況 酒井康行（東京大学生産技術研究所）
2. 眼刺激性試験の代替法のバリデーション（代替法バリデーション事始め）  
大野泰雄（国立医薬品食品衛生研究所）
3. 日本動物実験代替法学会バリデーション委員会と JaCVAM（日本動物実験代替法評価センター）  
小島 肇（国立医薬品食品衛生研究所）
4. 日本動物実験代替法学会の国際協調と代替試験法の開発  
田中憲穂（（財）食品薬品安全センター 秦野研究所）
5. 3Rs の日本動物実験代替法学会 黒澤努（大阪大学医学部）

## 【国際シンポジウム】

12月7日（金）16：30～18：00

\*オーガナイザー：足利 太可雄（資生堂）

1. Transcriptional profiling studies of cosmetic ingredients in human keratinocytes to discover novel biomarkers for skin irritation test  
Minsoo Noh (Department of Pharmacy, Ajou University, Korea)
2. Level of interleukin-6 and interleukin-18 production from keratinocyte cell line could be a potential candidate for screening skin sensitizing chemicals  
Yong Heo (Catholic University of Daegu, College of Natural Sciences, Dept. Occupational Health, Korea)
3. Alternative methods in the strategy of local toxicity assessment of chemicals and consumer products  
Dagmar Jírová (National Institute of Public Health, Prague, Czech Republic)

## 【マンダム賞報告会】

12月9日（日）14：00～15：00

\*オーガナイザー：藤堂 浩明（城西大学薬学部）

### 第5回マンダム動物実験代替法国際研究助成 中間報告

1. 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症2型(PFIC2)の治療法開発を指向したBile salt export pump(BSEP)変異体の機能活性化剤の探索 ～動物実験の代替法としてのBSEP変異体発現細胞の活用～  
林 久允（東京大学大学院薬学系研究科）
2. マイクロ流体デバイスを用いる眼底組織培養モデルの開発  
梶 弘和（東北大学大学院工学研究科）

### 第4回 マンダム動物実験代替法国際研究助成 研究結果報告

3. 2種類以上の市販細胞株で構築された生体模写組織 (biomimetic tissues) の開発および活用性の検討  
李 禎翼 (Department of Biomedical Science & Technology, (IBST), Konkuk University)
4. 虚血性心疾患治療薬開発におけるコネキシン43の脱リン酸化反応とアセチルコリンの関与  
～動物実験の代替法としての活用～  
有海 秀人（北里大学 薬学部）
5. 新規作出したヒト角膜不死化細胞 (iHCE-NY) を用いた眼刺激性試験評価系の確立  
山本 直樹（藤田保健衛生大学 共同利用研究施設 分子生物学／組織化学）

**【チャレンジコンテスト】**

12月9日（日）15：00～16：00

\*オーガナイザー：奥村 秀信（ノエビア）

1. 植物ガイガーカウンター 松島耕平（広島県立広島国泰寺高等学校 科学部生物班）
2. 生物実験におけるヒドラを用いての個体数の削減  
堀 亮真（広島県立広島国泰寺高等学校科学部生物班）
3. マヒトデの自切を用いた刺激性の判断 今田辰海（広島県立広島国泰寺高等学校）

**【ランチョンセミナー1】 共催：積水メディカル株式会社**

12月8日（土）13：00～13：45

\*座長：神村 秀隆（積水メディカル株式会社）

**L1 「ヒト幹細胞ライブラリー構築によるファーマコセロミクス基盤技術開発」**

谷口 英樹（横浜市立大学大学院医学研究科）

**【ランチョンセミナー2】 共催：日本ゼオン株式会社**

12月9日（日）12：00～12：45

\*座長：酒井 康行（東京大学生産技術研究所）

**L2 「リスク評価に役立つ in vitro 試験とは～ナノ材料の安全性評価を例に」**

岸本 充生（産業技術総合研究所）